

な る ど

八戸聖書キリスト教会
牧師：澤田 隆一
電話：0178-43-3091

No.37
2017年、
7月30日



イサク。神ご自身が全焼のいけにえの羊を備えてくださるのだ。

聖書箇所 創世記 22:8.

『聖書人物伝 アブラハム』

旧約聖書に登場するアブラハムは「信仰の父」と呼ばれています。後のイスラエル（ユダヤ人）の起源と言われ、75歳で召命を受けてから、イサクが生まれるまでには25年近くかかりましたが、聖書の神だけを見上げた信仰者として地上では過ごしました。

余談ではありますが、有名な「アブラハムには7人の子」の歌に登場する人物とは同一人物であると言われています。厳密には8人の子ですが、イシュマエルを除いたイサクとそばめの6人の子を足して7人となります。（創 25:1 参照）

1, 父の家を出て、わたしの示す地へ行きなさい（創12:1）

「父の家」とは、言い方を変えれば『親の影響力のある地』とも言えるでしょう。父という人間的な存在を頼りとするのではなく、『神のみを頼りとした生き方』を75歳という年齢から始めよと神様はお命じになりましたが、アブラムは素直に応じました。

『神様が何かをして下さったから従う』ではなく、『信じて従う』信仰者の姿がここにあります。

2, アブラムからアブラハムへ～生き方を変えられる（創17:5）

アブラム「高められた父」という意味の名が、一文字加えられただけでアブラハム「多くの国民の父」へと改名されました。彼の人生の中で、『甥のロトとの別れ』、『妻を妹と偽る×2回』、『エジプト人奴隷ハガルによる代理母出産』と実に人間らしく人の知恵や当時の常識に頼った生き方をしています。ここでも、一つ一つ神様からのお取り扱いがあります。結果、人を頼る生き方から『神を頼る生き方』へと変えられるのです。

3, イサクをわたしにささげなさい～人生最大の信仰の試練（創22:2）

100歳でようやくと正妻サラとの間に与えられた一人息子イサクを、突然「ささげなさい」と言われたアブラハムにとって、最も信仰が試されたことでしょう。しかし、彼は『主の山に備えがある』（22:8）と信じてイサクにも伝えました。後にこのことばが真実であると神様は証明してくださいました。

信仰の父アブラハムの姿から、『信仰だけで救われるのが信仰者』だと教えられますね。

八戸だより



『CS だより』夏期学校実施！

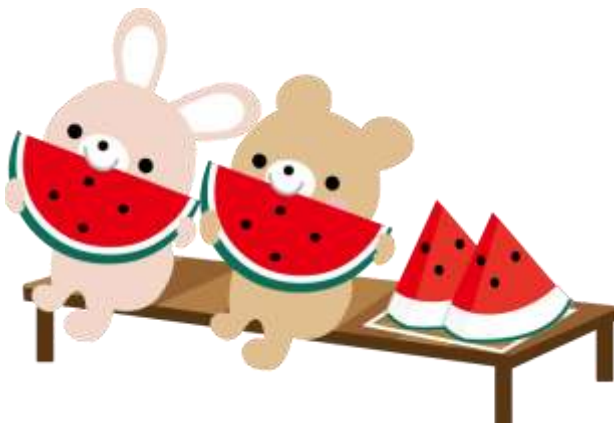
☆8月5（土）－6（日）夏期学校を実施しました。土曜日は種差海岸で乗馬体験。夜は女子だけ教会でテント泊をして、深夜まで女子会となったようです。子供達も中学生が多くなり元気なCSが続いております。
（※左写真は種差海岸乗馬体験の様子）

教会の近況など

- ・7月30日（日）第二回目となる教会菱刺し教室を開催しました。講師：中村禮子さん、助手：中村晃子姉。大人・子供合わせて、20名程が参加し、良い交流と伝道の場となりました。初参加3名、久しぶりの参加4名。参加された方々の導きのためにも、お祈りください。
- ・9月23（土）－24（日）秋の特別伝道集会を予定しております。講師に大館教会の佐々木武先生をお迎えして行います。覚えてお祈りください。



※写真は7月30日（日）礼拝後の『教会菱刺し教室』の時のものです。



《7月、8月生まれの方々の祝福のために》

おめでとうございます。
神様の祝福をお祈り致します。